

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	2-(3)-イ	質の高い医療提供体制の充実・高度化	施 策	①地域医療連携体制の構築
			施策の小項目名	○県立病院の持続的な経営の健全化と必要な医療提供体制の整備
主な取組	収益の確保		対応する成果指標	回復期病床数
施策の方向	・ 県立病院については、地域における中核的な公的医療機関としての役割に応じた安定的な医療提供ができるよう、持続的な経営の健全化と必要な医療提供体制の整備に取り組めます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
診療報酬を確実に得るための診療報酬改定への対応、DPC分析の強化、査定・返戻の縮減等による収益の確保	県	診療報酬改定への対応、DPC分析の強化、査定返戻の縮減等		
		入院診療単価対前年比		
		101.6%	101.6%	101.6%
担当部課【連絡先】	病院事業局経営課		【 098-866-2636 】	関連URL
				—

様式 1（主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

県立病院医事業務強化事業

主な財源

実施方法

R6年度
決算額

R7年度
決算見込額

県単等

委託

20,074

令和7年度活動内容

予算規模縮小のため、委託事業者の応募がなく事業の実施を見送ったため、事業局と各県立病院担当で医事業務にかかる勉強会等を実施

(単位：千円)

予算事業名

R8年度

主な財源

実施方法

当初予算額

—

—

令和8年度活動計画

活動指標名

入院診療単価対前年比

R7年度

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

進捗状況

活動概要

実績値

R5年度

R6年度

—

—

95.5%

101.6%

94.0%

順調

医事業務について、診療報酬の解説、施設基準要件の確認など病院事業局、県立病院担当で勉強会等を毎月実施した。（実施回数13回）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

診療報酬を確実に得るための診療報酬改定への対応、DPC分析の強化、査定・返戻の縮減等による収益の確保などの取組の効果もあり、入院診療単価対前年比について、目標値の94%を達成していたので、順調と判定した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和7年度の取組改善案

反映状況

①仕様書等により委託職員の賃金体制の見直しを行い熟練職員の定着を目指す。
②県職員の内製化と施設基準管理システム導入による基準の見直しや適時調査対策を行う。
③各県立病院医事業務担当者による勉強会等を通じ医事業務の強化を図る。

①プロポーザルによる委託事業者の選定基準について、賃金体制の見直しを行った。
②施設基準システムの活用に係る勉強会等を実施し、届出要件の見直し、適時調査に対応した書類の整備を行った。
③担当者だけでなく、課長級を含めた勉強会を実施した。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制（内部要因）	委託職員と病院職員の情報連携を密にする必要や職員の短期間での異動等による専門知識が蓄積しないことが課題である。	① 執行体制の改善	委託職員と病院職員との情報共有会議や職員への専門知識を落とし込む勉強会等を行う。
⑦ その他内部要因（改善余地の検証等）	取組により、医事業務の診療報酬の仕組み、多様な施設基準把握など、専門知識が必要不可欠であることが再認識できた。担当者間での知識・ノウハウの共有、円滑な業務遂行の連携は継続して行う必要がある。	② 連携の強化・改善	各県立病院医事業務担当者による勉強会等を通じ医事業務の強化を図る。

様式 1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(3)-イ	質の高い医療提供体制の充実・高度化	施 策	①地域医療連携体制の構築
			施策の小項目名	○県立病院の持続的な経営の健全化と必要な医療提供体制の整備
主な取組	費用の縮減		対応する成果指標	回復期病床数
施策の方向	・ 県立病院については、地域における中核的な公的医療機関としての役割に応じた安定的な医療提供ができるよう、持続的な経営の健全化と必要な医療提供体制の整備に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
材料費等の適正化、委託業務の見直し等による費用の縮減	県	材料費の適正化、委託業務の見直し		
		医療材料費率		
		20.9%	20.9%	20.9%
担当部課【連絡先】	病院事業局経営課		【 098-866-2636 】	関連URL
				—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

材料費縮減PRJ支援事業

主な財源

実施方法

R6年度
決算額

R7年度
決算見込額

県単等

委託

8, 556

8, 695

令和7年度活動内容

県立病院で調達する医薬品及び診療材料に関して、本庁にて一括交渉を行った。また、安価な製品への切替提案等を行い材料費縮減を図った。

予算事業名

材料費縮減PRJ支援事業

R8年度

主な財源

実施方法

当初予算額

県単等

委託

9, 000

令和8年度活動計画

・ 医薬品、診療材料に関して、値上げに対する費用縮減に向けた取組みを実施する。

活動指標名

医療材料費率

R7年度

実績値

R5年度

R6年度

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

進捗状況

概ね順調

活動概要

医薬品及び診療材料等について、一括交渉を行い、交渉前時点と比較して年間で約1億3千万円の費用引下となった。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

医療の進歩に伴う高額医薬品の使用増加や原材料費の高騰による値上げ等の影響により材料費は増加したが、医薬品及び診療材料について一括交渉を行うことにより、医療材料費率は目標値の83.9%だったことから、概ね順調だと判定した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和7年度の取組改善案

○業界専門委託事業者との連携やベンチマーク情報等を活用し、情報収集を図り、厳しい環境下でも他施設の状況や各事業者の対応等を踏まえることができ、よりスムーズに交渉に臨めることが見込まれる。
○メーカーからの情報収集などを頻回に行い、後発医薬品への切替を促進し、薬品費の縮減に努める。

反映状況

委託業者を通して、他院の状況等を把握し、交渉及び採用品切替等の取組みを行った。現採用品よりも安価な品目へと切替促進を行った。

5

様式 1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	中東情勢の影響による原材料費の高騰や円安による輸入品の高騰等により、ほとんどの医療材料の定価が値上げされ、併せて燃料費の高騰で輸送費の増加があり、材料費もその影響を多大に受けた。	② 連携の強化・改善	コンサル業者や他公的病院との連携・ベンチマーク情報等を活用し、厳しい環境下でも他施設の状況や各事業者の情報を踏まえることで、よりスムーズに交渉に臨めることが見込まれる。
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	薬価については、毎年改定が始まってから、国による薬価縮減が継続されている。令和8年度においても不採算品となる薬品が多数あることから、薬価値引率の悪化が予想される。	⑥ 変化に対応した取組の改善	卸業者からの情報収集など頻回に行い、各県立病院へ後発医薬品への切替を促進し、薬品費の縮減に努める。

様式 1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(3)-イ	質の高い医療提供体制の充実・高度化	施 策	①地域医療連携体制の構築
			施策の小項目名	○県立病院の持続的な経営の健全化と必要な医療提供体制の整備
主な取組	医師の確保		対応する成果指標	回復期病床数
施策の方向	・ 県立病院については、地域における中核的な公的医療機関としての役割に応じた安定的な医療提供ができるよう、持続的な経営の健全化と必要な医療提供体制の整備に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
地域の中核的な公的医療機関として急性期医療を安定的に提供するため医師確保に取り組み、回復期病床との機能分化を図る。	県	他の医療機関との協力連携強化、医師募集情報の発信、各種事業による医師の安定確保		
		地域・離島医療確保モデル事業を活用した招聘医師数(累計)		
		15名	15名(30名)	15名(45名)
担当部課【連絡先】	病院事業局総務課		【 098-866-2832 】	関連URL
				—

様式 1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)			
予算事業名		地域・離島医療確保モデル事業			予算事業名		地域・離島医療確保モデル事業	
主な財源	実施方法	R6年度 決算額	R7年度 決算見込額		R8年度			
					主な財源	実施方法	当初予算額	
県単等	直接実施	4,763	1,587		—	—		
令和7年度活動内容					令和8年度活動計画			
病院事業局のホームページを活用し、医師募集を積極的にアピールした。					ホームページを活用した医師募集の取り組みを引き続き行う。予算については、各病院においてプールされた旅費予算から執行する。			

活動指標名	地域・離島医療確保モデル事業を活用した招聘医師数（累計）		R7年度			進捗状況	活動概要
実績値	R5年度	R6年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
	—	—	23名	15名	100.0%	順調	県立病院での勤務を希望する医師に、職場、住環境を含め見学してもらい、安心して就職できるように案内する。

様式1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
目標値15名に対し、実績値23名になったことから、進捗状況は「順調」と判定。ホームページをリニューアルし、アクセスしやすくした結果、招聘数の増加につながり目標値を上回ることができた。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和7年度の取組改善案	反映状況
ホームページを定期的に更新し、情報発信の強化に取り組む。	ホームページを定期的に更新し、情報発信の強化に取り組んだ結果、招致数の増加に繋がった。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑧ その他外部要因 (改善余地の検証等)	ホームページを定期的に更新し、情報発信の強化に取り組んだ結果、招致数の増加に繋がったことから、引き続き、採用に関する情報の更新と発信の強化が必要である。	⑤ 情報発信等の強化・改善	引き続き、各病院のホームページを定期的に更新し、情報発信の強化に取り組む。